

## 解 答

1 (C)	2 (B)	3 (B)	4 (D)	5 (C)	6 (A)
7 (C)	8 (B)	9 (A)	10 (D)	11 (B)	12 (D)
13 (C)	14 (D)	15 (B)	16 (C)	17 (A)	18 (C)
19 (A)	20 (C)				

1. 「試合が長引けば長引くほど、選手たちはますます疲れていった」  
 ▶ 「the + 比較級..., the + 比較級～」の構文。前半のlongは「ゲームが長く続ければ続くほど」で副詞なので、(B)ではなく(C)が正解。

□ **the + 比較級 + S V..., the + 比較級 + S V~** 「…すればするほど、ますます～」

**The more I study, the more I know.**

(学べば学ぶほど、それだけ知識が増える。)

▶ この構文は関連し合った2つの動作や状態が、互いに比例関係を保ちながら、程度を増したり減じたりしていく場合に使われる。

### 『形容詞の比較級+名詞』の場合

**The more time you have, the more work you can do.**

(時間があればあるほど、たくさんの仕事ができる。)

▶ この場合、形容詞と名詞を離して<sup>x</sup>**The more you have time, ...**のようにしてはならない。

2. 「私は以前ロンドンに住んでいたが、昨年オックスフォードに引っ越した」

▶ **used to do**「(今はそうではないが)以前は～だった」問題文のようにbutと組んで、その後事情が変わることを示唆する場合が多い。

### ■ **used toの用法**

**used to**は『過去の習慣』や『過去の状態』を表すが、いずれの場合も現在との対比に重点が置かれ、現在はその習慣や状態がない場合に用いられるのがふつう。

- (1) 『過去の習慣』を表す「以前はよく～したものだった」

**I used to go to a gym after work, but now I don't.**

(以前は仕事のあとジムに行ったものだが、今は行かない。)

- (2) 『過去の状態』を表す「以前は～であった」

**There used to be a post office on this corner.**

(以前、この角に郵便局があった(が今はない。))

cf. **be used to + doing [名詞]** 「～に慣れている」との違いに注意する。

3. 「食事を摂ったら常に、忘れず歯を磨くことです」

▶ **after you eat**を分詞構文にして接続詞が残ったもの。

□ **remember to do** 「～することを覚えておく/忘れずに～する」 [未来]

**Please remember to lock the door.**

(ドアのカギをかけるのを覚えておいてね。)

□ **remember doing** 「～したことを見ている」 [過去]

**Do you remember locking the door?**

(ドアのカギをかけたことを覚えていますか。)

4. 「祖父母がまだ生きていたなら、結婚して75年になっているだろう」

▶ **for**があるので、完了形の(D)が正解。If節が仮定法過去、帰結節の動詞が〈助動詞の過去形 + have + 過去分詞〉で、現在の事実に反する仮定。

5. 「ピーターはトムの生まれ持った運動能力をずっと妬んでいる」

□ **be jealous of ~** 「～をねたむ」 (≒ **be envious of ~** 「～をうらやむ」)

**I'm not jealous of the rich.**

(私は金持ちがうらやましくない。)

▶ **envious**よりうらやましく思う気持ちが強く時に相手への憎しみや憤慨まで含む。

6. 「新しい上司が来た時に、職場の状況は好転した」

▶ 新しい上司が来た「時に」職場の状況は好転した、となるので(A)whenが正解。  
 (D)whileは「～している間ずっと」と『継続』なので、文意に合わない。

関係副詞の種類と先行詞				
先行詞	場所 (place, houseなど)	時 (time, dayなど)	理由 (reasonのみ)	なし
関係副詞	where	when	why	how

7. 「昨年デビッドが大学を卒業したとき、彼の家族はとても誇らしかった」

▶ last yearは通常、無冠詞(this year, next yearなども同様)。

□ graduate from ~「～を卒業する」(= finish)

I want to be a teacher when I graduate from this school.

(この学校を卒業したら先生になりたい。)

▶ graduateは自動詞なので、fromが必要。

8. 「ほとんどの時間天候が悪かったにも関わらず、私たちは良い休暇を過ごした」

▶ despite「～にもかかわらず(= in spite of ~)」が入る。(A)althoughは接続詞なので後には節[S+V]が続く。the weatherはbeingの意味上の主語。

▶ (A)although「～だけれども」, (C)even「～(で)さえ」, (D)since「～なので」

■ 『讓歩』のdespite「～にもかかわらず」(= in spite of ~)

He came to the party despite his illness.

(彼は病気にもかかわらずパーティにやって来た。)

▶ despite(= in spite of)は前置詞なので後には名詞がくる。

9. 「私は最近メイとデビッドに全く会っていない。なぜなら、彼らは新しい家を探すことでとても忙しいからだ」

▶ 時制の一一致で(A)が正解。

□ be busy (in) doing 「～するのに忙しい」

The high school students are busy preparing for the examination.

(高校生たちは受験準備に忙しい。)

cf. be busy with[at] + 名詞 「～で忙しい」

He is busy with[at] his task. (彼は仕事で忙しい)

10. 「明日、映画に行きませんか」

▶ Let's ...の付加疑問文はshall we?である。

□ Let's ~ + shall we?

Let's go fishing in the lake tomorrow, shall we?

(明日、湖に釣りに行きましょうよ。)

▶ Let's ~「～しよう」に付け加える付加疑問はshall we?である

11. 「疲れている時に勉強することは困難だ。なぜなら集中力を欠いているからだ」

▶ (A)memory「記憶」, (B)concentration「集中(力)」, (C)intention「意図」, (D)confusion「混乱」で、文意より(B)が正解。

12. 「ジョンが母の日の贈り物を買いに行こうとしたので、彼の姉は一緒に行く義理を感じた」

▶ feel obliged to do 「～する義務を感じる」

▶ (A)follow「～の後について行く」, (B)impress「～に感銘を与える」, (C)obey「(人・命令など)に従う」

■ 『理由』を表すsince ~「～なので/～である以上」

Since you were not at the meeting, we made the decision without you.

(あなたが会議に出なかったので、私たちだけで決定しました。)

▶ sinceは「～して以来」という意味以外に『理由』を表すこともある。

cf. oblige A to do 「Aにむりやり～させる」(= make A do)

The law obliges us to pay taxes.

(法律で税金を払うよう義務づけられている。)

- ▶ あくまで本人も納得の上でさせることに用い、本人の意志に反してさせる場合はforceやmakeを用いる。

13. 「新しい職のために我々が面接した男性は聰明だったのだが、経歴には特に感銘は受けなかった」

- ▶ be impressed with ~「～に感銘を受ける」形容詞化した過去分詞で受動態を作る時, by以外の前置詞をとるものは要整理(be surprised at ~など)である。

□ **be impressed with** ~「～に感銘を受ける」

*He was well impressed with her earnestness.*

(彼は彼女の熱心さにすいぶん感銘を受けた。)

14. 「プロの演奏家になるためには、多くの練習が必要である」

- ▶ 文意より(D)require「～を必要とする」(= need / call for ~)が適切である。
- ▶ (A)make「～を作る」, (B)commit「(罪など)を犯す」, (C) insist「～を強く主張する」

15. 「この懐中電灯は明かりがつきません。電池を交換した方がいいですよ」

- ▶ 文意より(B)replace「～を交換する」が適切である。

- ▶ (A)resist「～を我慢する/～に抵抗する」, (C)reform「～を改善する」, (D)reduce「(数量・程度など)を減らす」

16. 「ピーターは私たちはこの仕事を2日で仕上げられると主張したが、私は彼が正しいと確信できなかった」

- ▶ be convinced that ...「(人が)…と確信している」これはconvince O(人) that ...「Oに…だと納得させる」の受動態である。
- ▶ (A)agree「(人と)意見が一致する」, (B)admit「～を認める」, (D)believe「～を信じる」

cf. **convince A of B** 「AにBを確信させる」

*I couldn't convince myself of the truthfulness of his claim.*

(私は彼の主張の正しさに確信が持てなかった。)

cf. [受動態] **A is convinced of B** 「AはBを確信している」

*I am convinced of your innocence.*

(私はあなたの無実を確信しています。)

17. 「メアリーは授業中、友達全員の前で泣いてしまい恥ずかしかった」

- ▶ 文意より「恥ずかしい」思いをしたので(A), (B)が該当するが、空欄のあとにofが続いているので(A)ashamedが正しい。

□ **be ashamed of** ~「～を恥じている」

*I am ashamed of my son being late so often.*

(私は息子がたびたび遅刻するのを恥ずかしく思っている。)

▶ **be ashamed to do** 「恥ずかしくて～できない[したくない]」

*I was ashamed to say that I had made a mistake.*

(恥ずかしくて自分がミスをしたとは言えなかった。)

□ **be embarrassed at[by/about]** ~「～に困惑する/～で恥ずかしい思いをする」

□ **be disappointed with[at/about]** ~「～に失望する」

18. 「ヒロミは3回目の挑戦で運転試験にようやく合格した」

- ▶ succeed in doing 「～することに成功する」
- ▶ (A)gain「～を得る」, (B)conquer「(国・敵など)を征服する」, (D)overcome「(困難など)を克服する」

□ **succeed in** ~「～に成功する」 (= fail in ~「～に失敗する」 )

*Susan finally succeeded in getting a good job.*

(スーザンはやっとよい仕事に就くことができた。)

19. 「私はミキを探して学校中を回った。そして最終的に図書館で偶然見つけた」

□ **come across** ~「(人)に偶然出会う」 (= run into[across] ~)

*I came across him at the airport.*

(私は空港で彼に偶然出会った。)

► **come across ~ / run across ~** は「(物)を偶然見つける」 (= find ~ by chance)  
の場合にも使う。

He *ran across* a rare book at a secondhand bookstore.

(彼は古本屋で珍しい本を偶然見つけた。)

20. 「バスがまた遅れた。私は6時には到着すると思っていたのに」

► **expect A to do** 「Aが～するだろうと思う」 (B)hopeはこの文型をとれない。(D)like  
は可能だが意味上不可。

□ **expect A to do** 「A(人・物・事)が～するだろうと思う」

I *expect* the bus to come on time.

(私はバスが時間通りに来ると思う。)

cf. **hope for A to do** 「Aが～することを望む」

I *hope for* John to come. (私はジョンが来ることを望んでいる。)